



2017年8月1日

各位

会社名 株式会社アウトソーシング
 代表者名 代表取締役会長兼社長 土井 春彦
 (コード番号: 2427 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長 鈴木 一彦
 経営管理本部管掌
 電 話 03-3286-4888 (代表)

第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2017年2月14日に公表いたしました2017年12月期第2四半期累計期間(2017年1月1日~2017年6月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2017年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異 (2017年1月1日~2017年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基 本 的 1 株 当 たり 四 半 期 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A) (2017年2月14日発表)	97,000	2,900	2,600	1,600	1,400	77.82
実 績 値 (B)	105,811	3,562	3,241	1,879	1,529	79.83
増 減 額 (B - A)	8,811	662	641	279	129	
増 減 率 (%)	9.1	22.8	24.7	17.4	9.2	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2016年12月期第2四半期)	57,380	2,367	1,531	722	650	37.34

2. 差異が生じた理由

2017年12月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、2017年2月14日に公表いたしました予想に対して、全般的に業績が順調に進捗したため、売上収益及び各利益において、いずれも予想を大きく上回る結果となりました。

売上収益につきましては、国内では、製造系分野での労働契約法の改正に伴うニーズに対応したPEOスキーム(メーカーなどが直接雇用している期間工を、雇用が5年を超える前に当社グループにて正社員として受け入れるスキーム)の戦略が順調に進捗し、技術系分野でも、当社グループの教育機関であるKENスクールによる未経験者を教育して配属するスキームが順調に進捗しました。さらに、海外では、これまでの日系メーカー中心の取引に加えて、チリのBPO、ドイツの製造派遣、アジアのペイロール事業といった幅広いアプローチにより、欧米の大手多国籍企業との取引も拡大し、豪州・欧州の安定的な公共事業のアウトソーシング事業も順調に進捗しました。また、外国為替において、予想時の想定レートに比べて各通貨がおおむね円安に推移したことにも後押しされました。

営業利益につきましては、一部のセグメントにおいて、大きな需要に対して予算以上の先行投資を行いました。また、グループ全体では売上収益が大きく上回ったことにより、予想を大きく上回りました。

税引前利益と四半期利益につきましても、営業利益が大きく上回ったことを主要因として、同様に予想を大きく上回りました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、株式持分が 100%ではない子会社の業績も好調だったことを受け、非支配持分利益を相応に差し引かれましたが、予想を大きく上回りました。

3. 通期業績について

2017年2月14日に公表いたしました2017年12月期の通期連結業績予想につきましては、上記のとおり、当第2四半期累計期間の連結業績は2017年2月14日に公表いたしました予想を売上収益・各利益において上回っておりますが、世界規模で政治経済の先行き不透明感が増大していることに鑑み、同日公表の連結業績予想を据え置き、現時点で変更はございません。

(注) 当該予想は、現時点における入手可能な情報に基づいたものであります。従いまして、実際の業績は、業況の変更等により、当該予想値と異なる可能性があります。

以 上